

学校だより



川口市立元郷中学校

〒332-0003 川口市東領家 1-8-3

TEL 048-222-4143 FAX 048-225-3222

令和4年3月14日 第371号

<https://motogo-j-kawaguchi-saitama.edumap.jp>

「有難う」は成長の言葉

校長 高田 晶子

春の日差しがささやくように、優しく色美しい花々が咲き始めました。休日もPTA環境施設部の方が当番で水やりをしてくれています。本当にありがとうございます。

右の絵は、元郷中学校の生徒たちは、「新しいものを吸収する力と、大切なものを受け継ぐ力がある」と、井戸教諭が表現してくれました。春らしく、装い新たな気持ちになります。



さて、毎月学校に送られてくる「生命尊重ニュース」から、東寺僧侶 山田忍良氏が寄稿されていたページより素敵な言葉を紹介したいと思います。

「おはよう」は、感動の言葉

ひょっとしたら昨日で終わっていたかもしれない命が、今日という日を迎えた。「昨日と今日が思いがけなくも出会った」という感動の言葉。

「いただきます」は、感謝の言葉。

その食材を作ってくれた人、運んでくれた人、調理してくれた人への感謝を表すと共に、命を捧げてくれた動物や野菜等への「命をいただきます」という深い感謝の言葉。

「有難う」は、成長の言葉。

苦難が来るたびに自分を深めることができる。難があるたびに自分を深める絶好のチャンスが来た。行き詰った時が、自分を見つめる最大のチャンス。自分の内面を深めることによって、その困難を乗り越えていく。「難有り」と喜ぶ。これが「有難う」という言葉。

日常使われる当たり前の言葉ではありますが、言葉の由来を改めて振り返ってみると、言葉の意味を理解するだけでなく、心で受け止めることができ、気持ちが落ち着いてきます。例えば、「ありがとう」という言葉は、感謝の言葉だとばかり思っていました。人に感謝の気持ちを表すということは、そこに自分の内面の成長があるということでしょうか。奥の深い言葉なのだと感じます。皆さんはいかがでしょう。

3年生の保護者の皆様には、元郷中学校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今後は、地域から元郷中学校を見守っていただければ幸いです。3年間本当に有難うございました。

3. 4月の行事予定

日	曜	3月	日	曜	4月
16	水	1年生球技大会③④ ①②③④⑤	1	金	部活なし
17	木	2年生球技大会①② ①②③④⑤ 川口市中学校オンラインなわとび選手権大会	2	土	
			3	日	
			4	月	部活なし
18	金	1・2年・5組学年末保護者会 ①②④⑤	5	火	
			6	水	
19	土		7	木	3年生・5組式場準備
20	日		8	金	始業式・入学式
21	月	春分の日	9	土	
22	火	①③④⑤⑥	10	日	
23	水	①③④⑤⑥ 給食最終日 小学校卒業式	11	月	3時間授業 清掃なし 2・3年発育測定 ふれあいデー 14:00 部活動再登校
24	木	集会・学活・大掃除 新入生1日入学・部活動紹介	12	火	給食・清掃開始 2年視力検査 1年・5組発育測定
25	金	修了式			
26	土	春季休業～4月7日	13	水	部活動見学 5時間授業 1・3年聴力・視力検査
27	日				
28	月		14	木	避難訓練 5時間授業 内科検診 (5組・3年・2年1, 2組) 専門委員会・生徒議会 写真撮影
29	火				
30	水				
31	木				
			15	金	4時間授業 2年・5組保護者会

栄光の記録

第6 2回埼玉県小・中学校等児童生徒美術展

特選

入選

令和30年度学業優秀・善行生徒

令和3年度体育優良児生徒

令和3年度産業教育振興会小・中学校優良卒業生

川口市優秀選手賞 バレーボール

野球

埼玉県読書感想文コンクール入選賞

第7 4回埼玉県書きぞめ展覧会川口市審査会出品

お知らせ○転出・転居報告のお願い

転出・転居、住所変更が「決まっている」又は、「予定がある」というご家庭は担任か教頭までご連絡ください。

学校行事

○福祉・ボランティアの体験実習を行いました

2年生 2月15日（火）クラスごとに北校舎4階ホールにて体験を行いました。

1年生 2月24日（木）が5，6時間目に体育館にて2クラスずつ体験を行いました。

「体験を通して、白杖や点字ブロックの大切さを学びました。点字ブロックの上に立ち止まったりしないよう今後は気を付けます。」という振り返りがありました。体験を通して福祉についての意識を高めることが出来ました。



（アイマスクを付けての卓球体験）



（手話体験）

○2学年校外学習

2月24日（木）2年生の校外学習を川口市グリーンセンターにて行いました。「普段教室では見たり感じたりすることができない、友達の良いところ発見し、更に絆を深めることができました。」という振り返りがありました。残り僅かの中学校2年生としての生活を大切に過ごして下さい。



（ミニ鉄道）



（ウォークラリー）

○3年生を送る会

3月3日（木）1・2時間目体育館にて行いました。例年のように全校生徒が体育館に集まっていた会はコロナ禍のため行いませんでした。事前に撮影した1、2年、5組の発表を上映しました。各学年とも3年生への「感謝」の思いが詰まった作品でした。感動し涙を流す3年生もたくさんいました。



（各学年の発表を見る三年生）



（退場する三年生）

スマホ社会の健康 ②

「こうなる前に」 大人も子供も一緒に考えてみましょう。



Q1: 家族のライングループを作ったら、会話がとてもはずみます。これもいけないことでしょうか？

A1: それはよかったですね。普段それぞれの家族が忙しくしている中、連絡を取り合ったり簡単な会話ができたりする LINE は、一緒にいないときには便利だと思います。しかし、盛り上がる会話をわざわざ LINE である必要があるのかどうかも、考えてみましょう。また、同じ家の中にいるのに、LINE でやりとりとい

うことにはなっていないでしょうか。家族で顔を合わせて、表情や身振りなどのある普通の会話が減っていませんか？忙しいかもしれませんが、LINE を使わずに会話をする時間を増やしてみてください。また、逆に今、家族の会話が弾んでいるご家庭では、LINE を利用することで従来の会話が減らないように注意しましょう。

Q2: 「どうしてみんな“いいね”が欲しいんだろうか？」という疑問があります。うちの子もそんな事にこだわっていないだろうか、心配です。大丈夫なのでしょうか？

A2: 人はみんな他人からほめられたり、評価されたりすると嬉しくなる生き物です。特に幼いころから家庭でほめられた経験が少なかったり、学校生活で評価されることがあまりなかったりした子ほどネット上での“いいね”を欲しがります。だから“いいね”欲しさに、無理をしったりウソや作り物の投稿をしったりしてしまいます。



本音かどうかもわからずどこの誰かもわからないネット上の“いいね”よりも、現実生活でほめられたり評価されたりする“いいね”の方がずっと心地よいことを伝えてあげてください。



Q3: 電子ゲームなどの使用時間を家族で決めましたが、時間が守れません。

A3: 小学生ならば、約束を守れない場合、「強制的に取り上げる」「やめさせる」という親の管理が必要です。その代わり、その時間を親が何らかの方法で、子どもが楽しめるように埋める必要が出てきます。一緒に過ごす時間の確保など、充実した手応えのある生活をさせることです。そういう時間を積み重ねれば、電子ゲームなどしなくても「一人で過ごせる自分」に育っていくのです。

中学生くらいになると、親の思い通りにはなかなかありません。「ゲームをやめなさい」というだけというのにも感心しません。お子さんの楽しみや困っていること、話したいことに耳を傾けるための時間も必要だと思います。そして、約束の作り直し、費やしている時間を客観的にわかるようにする、高校に行くのか行かないのか、5年後はどうなっていたいのかなどの話し合いも必要でしょう。話し合いにならない、暴力を振るうなどのことがあれば家族内での解決は無理です。専門家への相談をお勧めします。

清川輝基・内海裕美 共著：「スマホ社会の落とし穴」より抜粋